

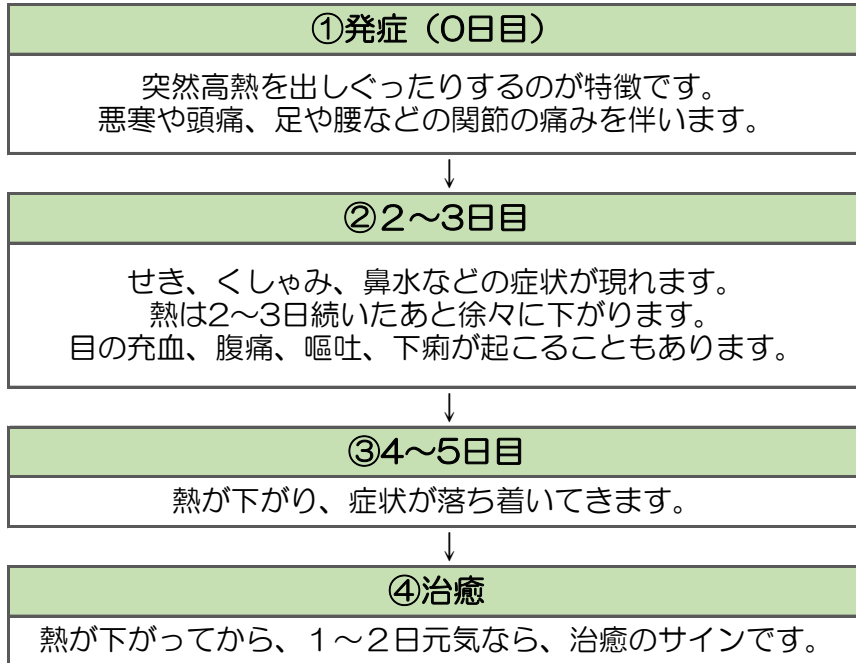


インフルエンザについて

今年、南半球のオーストラリアでは数ヵ月早いインフルエンザの流行が確認されており、日本でもインフルエンザの流行が懸念されています。



★ 発症からの経過 ★




ホームケアの注意点

- 薬は自己判断せず医師に相談しましょう。
- 解熱のために体を冷やすのも効果的
脇の下や脚の付け根などを冷やしましょう。
発熱中の入浴は体力を消耗するので避けましょう。
- こまめに水分補給をしましょう。
脱水症の危険を防ぎます。

★ 事前にできること ★

予防接種	かかったかな?と思ったら
インフルエンザ流行が抑えられていたことにより、インフルエンザに対する免疫力が弱い子どもが増えています。 インフルエンザ予防接種を早めに受けることをお勧めします。	インフルエンザ診断キットは、発熱から約12時間たたないと陽性反応が出にくいので、 無理に大きな病院へ急がず、かかりつけ医を受診しましょう。

★ 予防接種Q&A ★

Q.家族も全員接種すべき?	Q.流行してからの接種では遅い?
小さい子どもは家族が持ち込んだウイルスにより感染することがよくあります。 家族全員 予防接種を受けましょう。	予防接種の効果が出るまでに約2週間かかるので、流行してからはあまり効果は期待できませんが、重症化を食い止める効果はある程度期待できます。
Q.何回接種すれば良い?	Q.副反応は?
13歳未満の子どもは2回接種が原則です。 早い時期からの流行が予想されていますので、計画的に受けましょう。	接種した部位の赤みや腫れ、痛み、発熱などのほか、まれにワクチンに対するアレルギー反応を起こすこともあります。 接種時はかかりつけ医とご相談ください。
Q.コロナワクチンと同時接種は?	 <p>引き続き、感染予防対策とワクチン接種で流行に備えましょう!</p>
コロナウイルスワクチンとインフルエンザワクチンは 同日に接種可能 です。 かかりつけ医や接種を受ける医院にご相談ください。	

インフルエンザと出席停止期間

(学校保健安全法による出席停止期間)

学校はいつまで休む？

インフルエンザにかかった時は、「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後3日を経過するまで」保育園を休みます。

インフルエンザという病気は、通常は高熱を伴いますから、一般に「発症」とは「発熱」の症状が現れた日を指します。このことは学校保健安全法施行規則に定められており、学校を休むことが必要と定められている期間を「出席停止期間」といいます。

「解熱した後3日を経過するまで」の日数の数え方について、下の図をご確認ください。

	発症日	発症後	発症後	発症後	発症後	発症後	(発症した後5日を経過)			
	0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目
	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
発症後1日目に解熱した場合		 解熱	解熱後 1日目	解熱後 2日目	解熱後 3日目		登園可能			
→発症後6日目から登園可能	登園停止→									
発症後2日目に解熱した場合			 解熱	解熱後 1日目	解熱後 2日目	解熱後 3日目	登園可能			
→発症後6日目から登園可能	登園停止→									
発症後3日目に解熱した場合				 解熱	解熱後 1日目	解熱後 2日目	解熱後 3日目	登園可能		
→発症後7日目から登園可能	登園停止→									
発症後4日目に解熱した場合					 解熱	解熱後 1日目	解熱後 2日目	解熱後 3日目	登園可能	
→発症後8日目から登園可能	登園停止→									
発症後5日目に解熱した場合						 解熱	解熱後 1日目	解熱後 2日目	解熱後 3日目	登園可能
→発症後9日目から登園可能	登園停止→									